

## ■ ■ 取組事例報告会を開催しました ■ ■

8月2日に県庁18階かごゆいテラスで「塩分50%OFF 減塩鹿児島みその開発」と題して、取組事例報告会を開催しました。

当センターの技術支援により坪水醸造(株)から商品化された塩分6.6%(通常味噌の約半分)の「減塩麦味噌」について、その研究開発から商品化までの経緯を報告しました。坪水醸造(株)の坪水徳宏常務も出席し、商品のコンセプトや発売後の反響などもご紹介いただきました。

35名の参加があり、活発な質疑応答や商品の試食などを通して、鹿児島みその特徴や減塩の取組に興味を持っていただく良い機会となりました。



## ■ ■ 製材JAS研究会を開催しました ■ ■

当センターでは、県内の製材企業のJAS認証に向けた活動支援のため、令和4年度から「製材JAS研究会」を主催しており、9月6日に令和5年度第1回製材JAS研究会を開催しました。

今回は「品質管理について(寸法, 乾燥, 含水率)」をテーマに各社の品質管理の現状について意見交換を行い、既に機械等級区分での認証を取得している「協同組合きもつき木材高次加工センター」から取組事例についてご紹介いただきました。

非常に活発な発言が飛び交い、品質管理についてはもちろんのこと、木材に関する幅広い分野での情報交換の場となりました。



## ■ ■ ものづくりDXセミナーを開催しました ■ ■

当センターでは県内企業のものづくりのDXを推進するため、「バーチャルものづくり研究会」を主催しています。

9月20日に、ものづくりの現場で製造やメンテナンスの作業に活用できるAR技術や、工場内のラインにDXを導入し生産性を向上させた事例を紹介するセミナーを開催しました。ディスプレイ越しに工業製品の取説が見えるARの展示や、工場内の生産状況を把握する管理システムのデモンストレーションも行いました。

30名の参加があり、「自社への導入イメージがわいた。」「現場改善への貴重な情報が得られた。」などの声が寄せられました。

